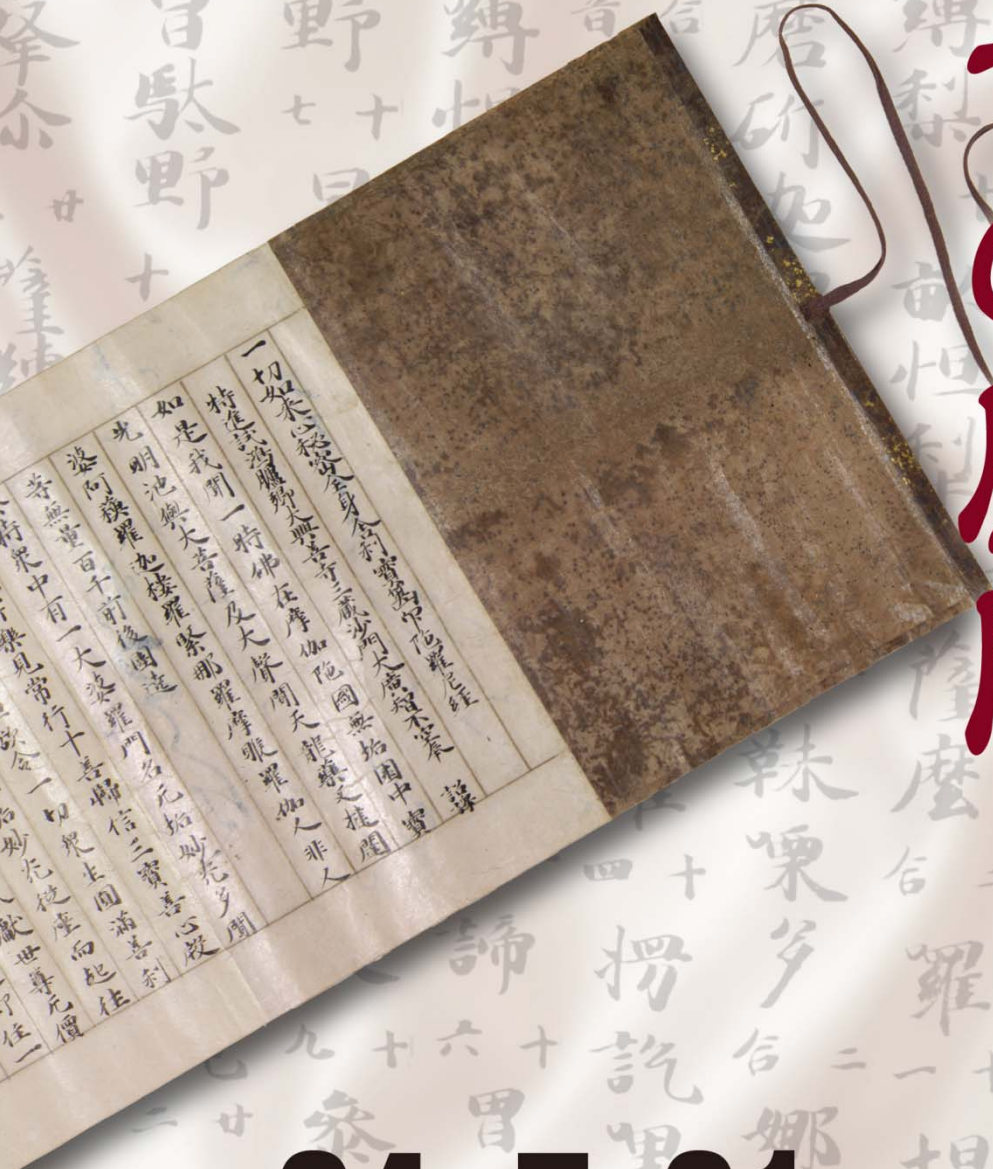


公開シンポジウム

『宝篋印陀羅尼經』と  
テキストとしての

その展開

The Bao qie yin tuoluoni jing as a Textual Source and Its Development



平成 24 年 7 月 21 日 (土)

午前 10:20 ~ 午後 5:30 (午前 10:00 会場・受付)

国際仏教学大学院大学 春日講堂

【申込先】

国際仏教学大学院大学 事務局

〒112-0003 東京都文京区春日 2-8-9

電話:03-5981-5271 FAX:03-5981-5283

E-mail: nihonkoshakyo@icabs.ac.jp

事前申込制  
(先着200名)  
**聴講無料**  
聴講を希望される方は  
7月19日までにお名前、連絡先を、  
FAXかEMAILにてお申し  
込みください。

# テキストとしての『宝篋印陀羅尼經』とその展開

The Bao qie yin tuoluoni jing as a Textual Source and Its Development

## プログラム

挨拶 学長	10:20~10:30	今西順吉 (国際仏教学大学院大学)
午前の部	10:30~11:00	司会 荒木 浩 (国際日本文化研究センター) 落合俊典 (国際仏教学大学院大学) 「宝篋印陀羅尼經の本文比較とその源流」
	11:00~11:30	赤尾栄慶 (京都国立博物館・京都大学大学院) 「文化財的観点からみた金剛寺本宝篋印陀羅尼經」 (休憩 10分)
	11:40~12:10	小島裕子 (国際仏教学大学院大学) 「金剛寺伝来の宝篋印陀羅尼經と信仰 —法舍利としての經典—」
	12:10~12:40	海野圭介 (国文学研究資料館) 「和歌史上における金剛寺本宝篋印陀羅尼經」 (昼休憩 1時間 20分)
午後の部	14:00~14:30	司会 デレアヌ・フロリン (国際仏教学大学院大学) 林寺正俊 (北海道大学) 「宝篋印陀羅尼の梵漢比較」
	14:30~15:00	釋 智如 (Pomona College) 「The architectural and religious functions of the Baoqieyin Dhāraṇīsūtra manuscripts at Leifeng pagoda」 (休憩 20分)
	15:20~15:50	李 際寧 (中国国家図書館)・方 廣錫 (上海師範大学) 「中国国家図書館蔵『雷峰塔経』版本系統研究」
	15:50~16:20	崔 鈞植 (木浦大学校) 「韓国における宝篋印陀羅尼經」 (休憩 10分)
ディス カッション	16:30~17:30	司会 木村清孝 (鶴見大学・国際仏教学大学院大学)
懇親会	18:00~	

共催 国際仏教学大学院大学 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「東アジア仏教写本研究拠点の形成」 研究代表者：落合俊典  
日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「金剛寺所蔵典籍の集約的調査と研究——聖教の形成と伝播把握を基軸として」 研究代表者：後藤昭雄 (成城大学)

## 交通案内



### 【最寄りの交通機関】

- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」より徒歩 10分
- 東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」より徒歩 12分
- 東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」より徒歩 16分
- 都バス「東五軒町」(飯 64、上 69)より徒歩 5分
- 都バス「春日二丁目」(都 02)より徒歩 5分